

【別紙 02】 仮想管理兼バックアップ先サーバー

[ハードウェア]

- (1) CPU は Xeon プロセッサー E-2134(3.5GHz/4 コア/8MB)相当以上のプロセッサーであること。
- (2) メモリは 24GB 以上であること。
- (3) ハードディスクは 2.4TB×5 以上の SAS ディスクを搭載し、ハードウェア RAID5 構成にすること。
- (4) LAN はオンボードを含めて 2 口以上のネットワークカードを 3 つ搭載し、合計 6 口以上の 1000Base-T とすること。
- (5) DVD-ROM ドライブを有すること。
- (6) 1U の物理サーバーであること。
- (7) その他
 - (ア) 電源の冗長性を持たせること。
 - (イ) CPU とメモリの故障予兆の通知が可能であること。
 - (ウ) 本体ファンが活性交換できること。
 - (エ) ネットワーク機器との接続は担当者との協議の上行うこと。
 - (オ) 以下の要件を満たす UPS に接続すること。ただし、今回導入するサーバー用 UPS との共有は可能とする。
 - a) ラインインタラクティブ方式または常時商用電源方式であること。
 - b) システムを停止することなくバッテリー交換が可能なこと。
 - c) 出力コンセントが 6 口以上あること。
 - d) 2U 以下であること。
 - e) システムの安全停止に十分な電源容量を有すること
 - (カ) 本体、UPS は、既存の 19 インチラック(36U)(HDVT 36-1017WBS)(1,750mm×700mm×1,000mm)に搭載すること。(H×W×D)

[ソフトウェア]

- (1) Windows Server 2016 Standard 日本語版をインストールすること。
- (2) 仮想管理ソフトウェアとして VMware vCenter Server をインストールすること。
- (3) 以下の要件を満たすバックアップソフトをインストールすること。
 - (ア) 仮想管理兼バックアップ先サーバーのシステム領域をバックアップ可能なこと。
 - (イ) 今回導入する NAS ストレージ (2 台) にバックアップできること。
 - (ウ) バックアップは世代管理ができること。
 - (エ) スケジュールでバックアップができること。

- (オ) 本学担当者の指示どおりバックアップを設定すること。
- (4) 一体型デスクトップ PC、教職員・大学院生用ノート PC のバックアップ/展開ツールとして以下の要件を満たすソフトをインストールすること。なお、必要なライセンス数は「238」とする。
 - (ア) 配信は、複数クライアントに一斉配信（マルチキャスト配信）、特定のクライアントに指定配信することが可能であること。
 - (イ) ディスクイメージ配信後に、クライアント毎のネットワーク情報（コンピュータ名、IP アドレス、ゲートウェイアドレス、DNS アドレス）を自動設定する機能を有し、ドメイン参加、ユーザ指定プログラム起動も併せての実行が可能であること。
 - (ウ) 情報処理教室で使用する運用支援ソフトと、同一 GUI で構成され、それぞれの機能が連携した一つのソフトウェア製品であること。
- (5) 既存の入退室ソフトであるアマノ製「TimePro-XG 入室」をインストールし、既存のものに準じた設定すること。マスターデータも移行し、入退室システムの運用できる状態にすること。
- (6) UPS からの停電信号を検知し、安全にシステムの停止を実行できるソフトウェアをインストールすること。復電後の自動的な再起動の可否は設定により選択可能であること。
- (7) ウイルス対策ソフトをインストールすること。
- (8) 時刻同期の設定すること。